

# 「学生番号生成」 / 難易度 : 2

問題タイプ:コーディング問題    目標タイム:20分    アルゴリズム/ データ処理

## 問題文

あなたの元にとある学校から、学籍番号の自動生成プログラム作製の依頼がありました。

その学校では、学籍番号を学年を表す数値  $Y$  と学年ごとに割り振る数値  $i$  (その学年において、 $i$  番目に入学したことを表す数値)を合わせた番号で割り振っています。

また、1 学年当たりの最大の入学可能人数は最大  $M$  人と決まっているので、 $i$  は  $M$  の桁数で入力し、足りない桁は '0' で埋めています。

例えば  $Y = 2018, i = 10, M = 100$  の場合、10 人目の学生の番号は "2018010" となります。

番号を生成するプログラムを作成し、全ての学籍番号を昇順改行区切りで出力してください。

ただし、番号は 1 から始まるとします。

## 入力される値

Y N M

- $Y$  : 学年を表す数値
- $N$  : 入学する生徒の数
- $M$  : 1学年当たりの最大の入学可能人数

## 期待される出力値

- 全ての学籍番号を昇順改行区切りで出力

## 制約

- $Y, N, M$  : 整数
- $0 \leq Y \leq 3000$
- $1 \leq N \leq M \leq 500$

### サンプルケース1

入力値

2001 12 20

期待される出力値

### サンプルケース1

入力値 行数: 2

2001 12 20

出力値 行数: 13

200101  
200102  
200103  
200104

### サンプルケース2

入力値 行数: 2

2018 3 500

出力値 行数: 4

2018001  
2018002  
2018003

テストする

200101  
200102  
200103  
200104  
200105  
200106  
200107  
200108  
200109  
200110  
200111  
200112

説明

2001 年度の新入生の番号のため、 2001 から始まる番号で表します。  
1 学年当たり最大 20 人入学できるので 1 ～ 9 人目の学籍番号の末尾は  
01 ～ 09 で表します。

サンプルケース2

入力値

2018 3 500

期待される出力値

2018001  
2018002  
2018003

説明

2018 年度の新入生は 500 人まで入学できるのに、 3 人しか入学しませんでした。

配置変更

C++ ▼



1

コードを提出する

2017 444 Inc. all rights reserved